
青虫。

かっぱ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

青虫。

【Nコード】

N8298A

【作者名】

かつぱ

【あらすじ】

小さな小さな青虫にだって、心はある。私たちは、それを無視していないでしょうか？

僕は、青虫。

キラ

キラ輝く、太陽の下。

少し葉をかじって、頂上まで登る。

そこで、のたーっとひなたぼっこをするのが、僕のお気に入り。

今日は、

なんだかうるさいなあー…。

いつもや

さしい農家のおじさんが、白いタオルで汗を拭きながら、一生懸命
レタスの収穫をしていた。

いつもより、朝早いなあー…。

「よお！

！青んぼッ！！」

このおじさん、いつつ

も僕のこと、青んぼって言う。
名前は無いんだけどなあー…。

僕の背中、ツ

ンツンって触って、やさしい顔してレタスごと土から採った。

僕とレタスは、茶色の段ボールの中に入れられた。

たくさんレタス。

おじさんは、段ボールごと、トラックの中に入れたんだ。

ガタゴト揺れ

る。

しばらくした

ら、どっかに着いた。

真っ白い服を着た人間達が、ものを切ったり、お皿にのせていた。

いい匂い…。

気がついたら、僕とレタスはザルの中。

水が冷たい。

人間達は、レタスをゴシゴシ洗う。

僕は、レタスを一生懸命かじった。

はな

れるもんかッ！！

僕は、真っ白い皿の上。

レタスも一緒。

そのまま、お皿は運ばれる。

お皿がテーブルの上に置かれた。

たちまちつまみあげられ、暑いコンクリートの上に投げられた。排気ガスにむせながら、隅っこを歩く。

小さい女の子。興味津々に、僕をつまんで箱の中に。ツルツルしてる。外が見える。

呼吸がしにくいなあ…人間が、

何かを吹き付ける。

体が痛い。苦しい。息ができない。人間が…畑の持ち主が…殺虫剤をまいてるんだ。

どこを行っても、邪魔者扱い。

緑が少ない。空気が悪い。住みづらい。

この地球は、

人間だけの星じゃあないッ！！なのに、人間は、地球をこんなに汚して、住みにくくした。緑を減らした。僕たち虫だって、毎日毎日、排気ガスにむせながら、人間達におびえて、一生懸命生きてるんだッ！！

この星に住んでるのは、人間だけじゃない！！動物だって、魚だって、僕たち虫だって…。毎日毎日、この住みにくい

地球で、一生懸命生きてるんだッ！！

重たい体を引きずって、異常に暑くなった
土の上をばう。

どこにあるか分からない、安全な居場所を求めて…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8298a/>

青虫。

2010年12月12日11時22分発行